

沿岸定線観測速報 ちば (2022年3月)

千葉丸：3月12～17日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和4年3月23日

黒潮は、房総沖を接岸して、小さく蛇行しながら北東に流れていました(図2)。
水温は、海面では平年よりやや高め、水深50,100,200mではおおむね平年並でした(表1)。

(詳細)

水深10mの水温は、15～21℃でした(図3)。犬吠埼沖で12月以降に水深300m以深で見られた低温・低塩分(8℃以下、34.2PSU以下)の水塊は今月も持続しており、さらに九十九里沖の水深250m以深及び太東埼沖の水深350m以深にも見られるようになりました(図5,6)。これらの海域では、水深300～500mの水温が例年より2℃低くなっていました。また、同水塊により、水深200m,500mでは岸から沖への水温、塩分勾配が顕著になっていました(図3,4)

海面の流況では、黒潮の北縁や流路上に北北東～北東方向へ1～4ノット、外房沿岸に南東方向へ0.5ノットの流れが見られました(図2)。

クロロフィル濃度は、九十九里沿岸の水深10mでは1～3μg/Lで例年より高めでした(図7)。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖では海面から底層まですべての層で前年より3～6℃低め、銚子沖は水深100m以深で前年より2～5℃低めでした(図8)。

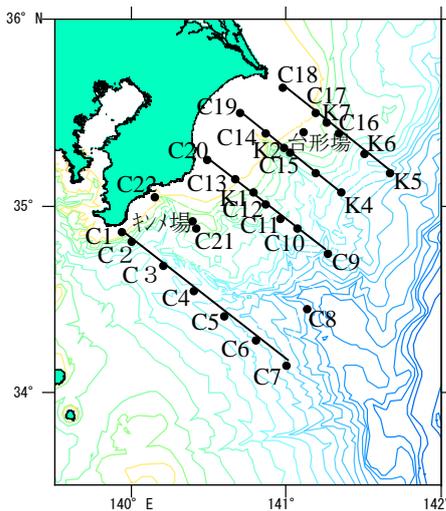


図1 調査点 (k4,5は欠測)

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線

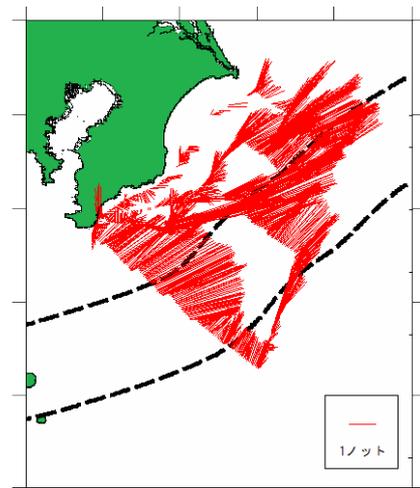


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	17.1 やや高め	16.5 平年並	15.5 平年並	12.9 平年並み
外房	17.9 やや高め	15.9 平年並	15.2 平年並	15.2 やや高め

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点，外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

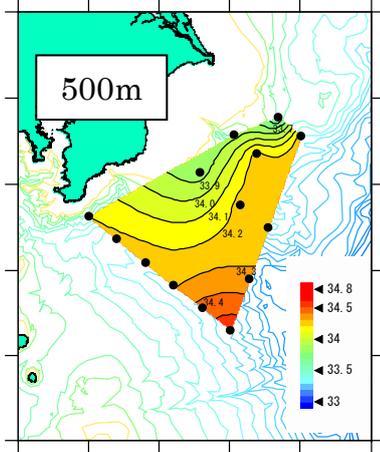
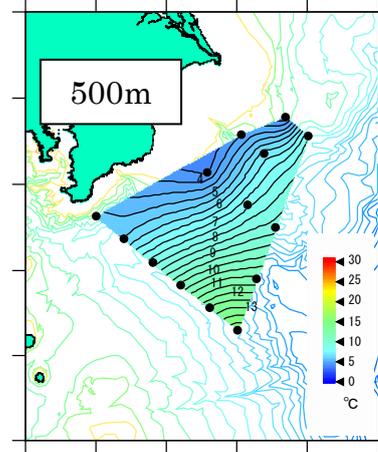
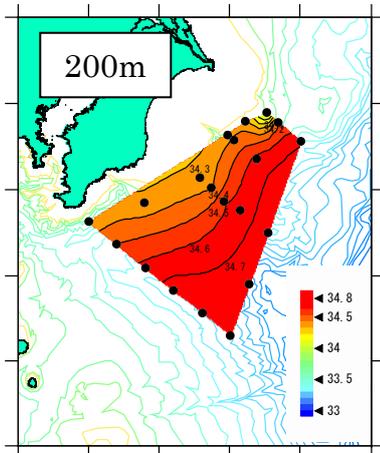
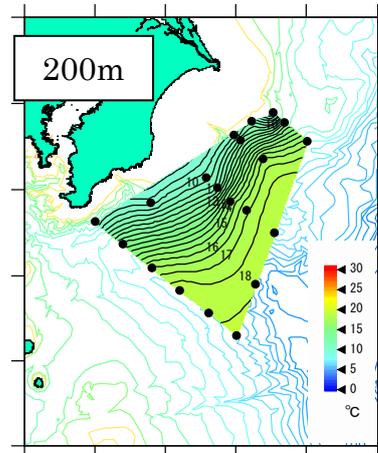
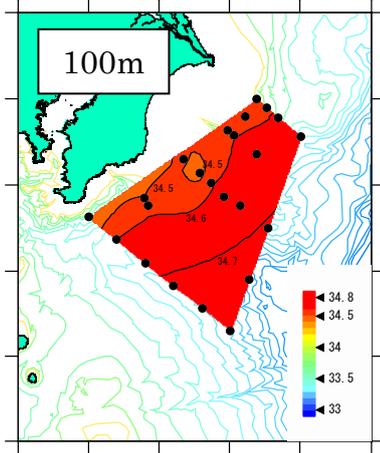
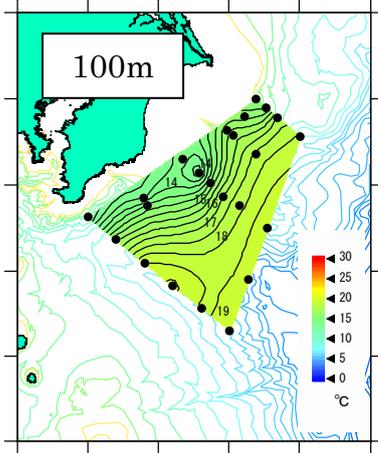
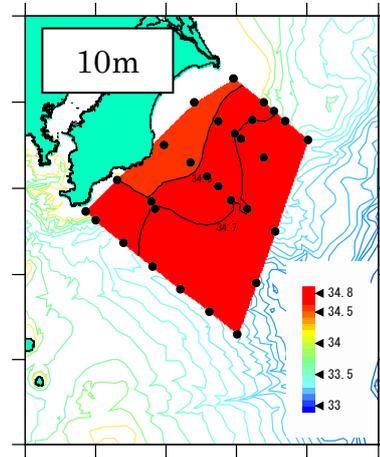
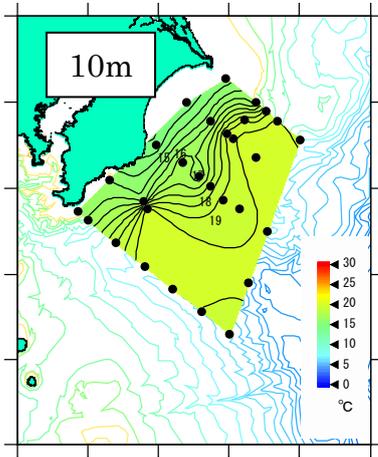


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

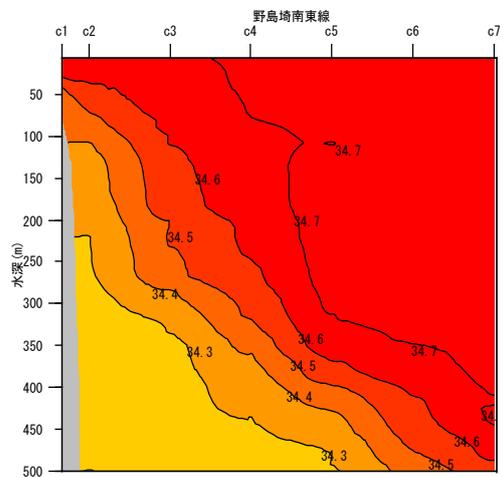
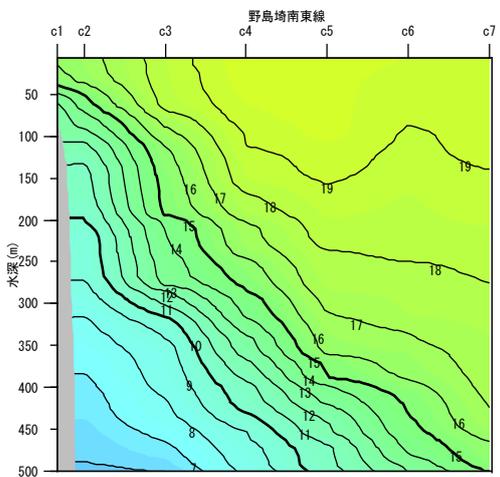
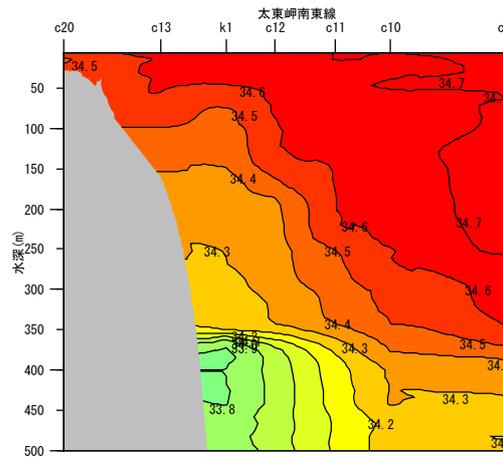
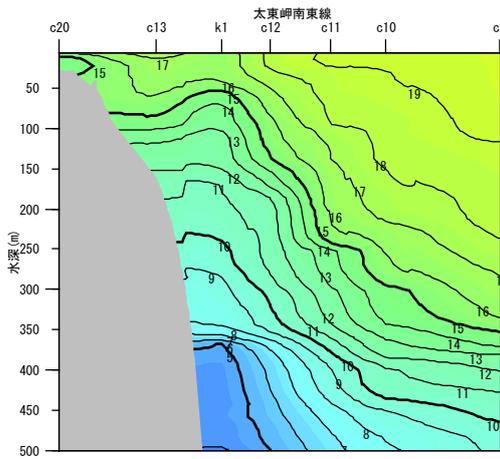
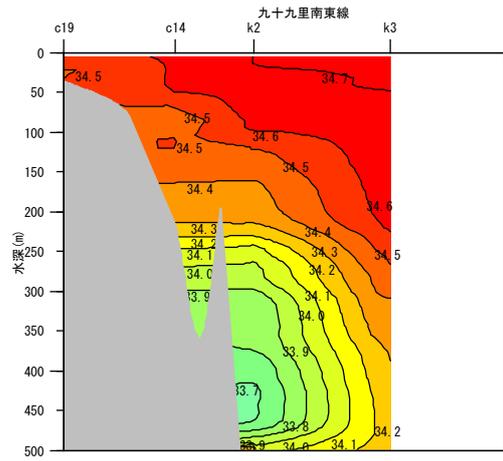
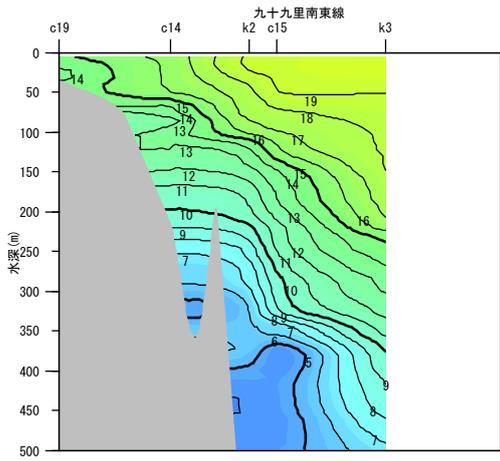
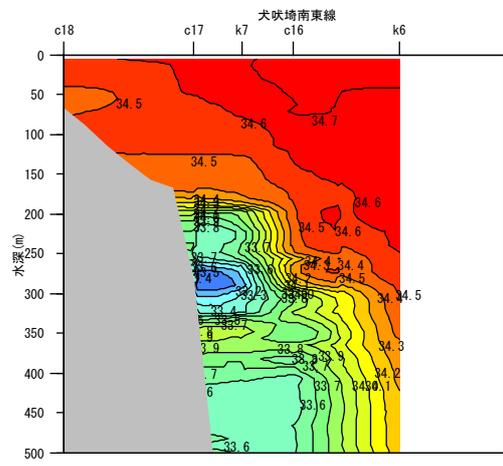
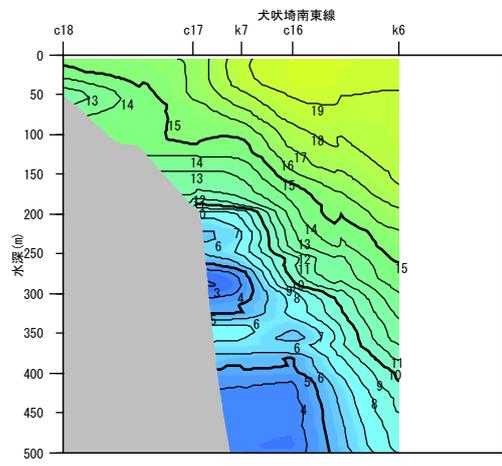


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

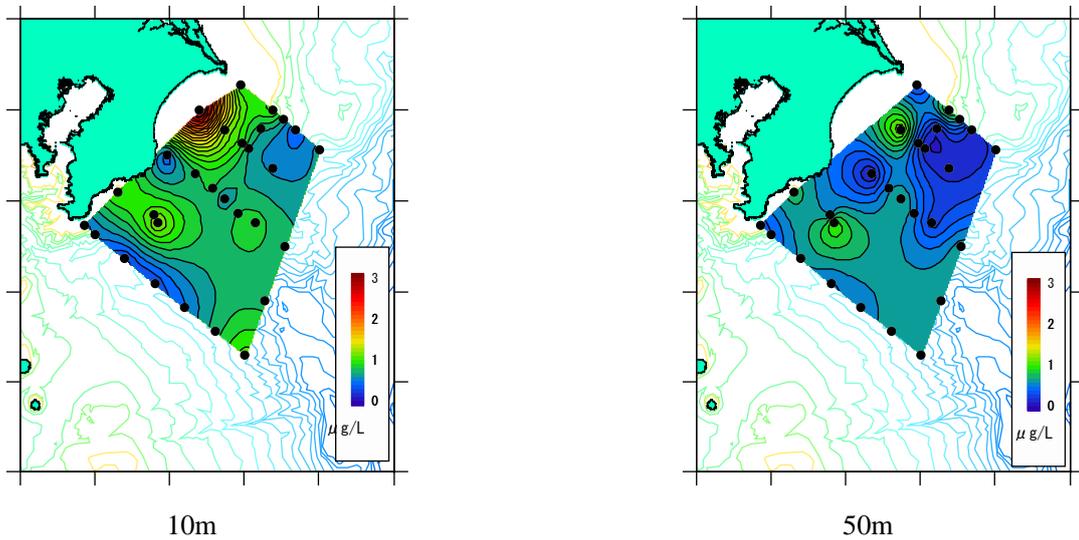
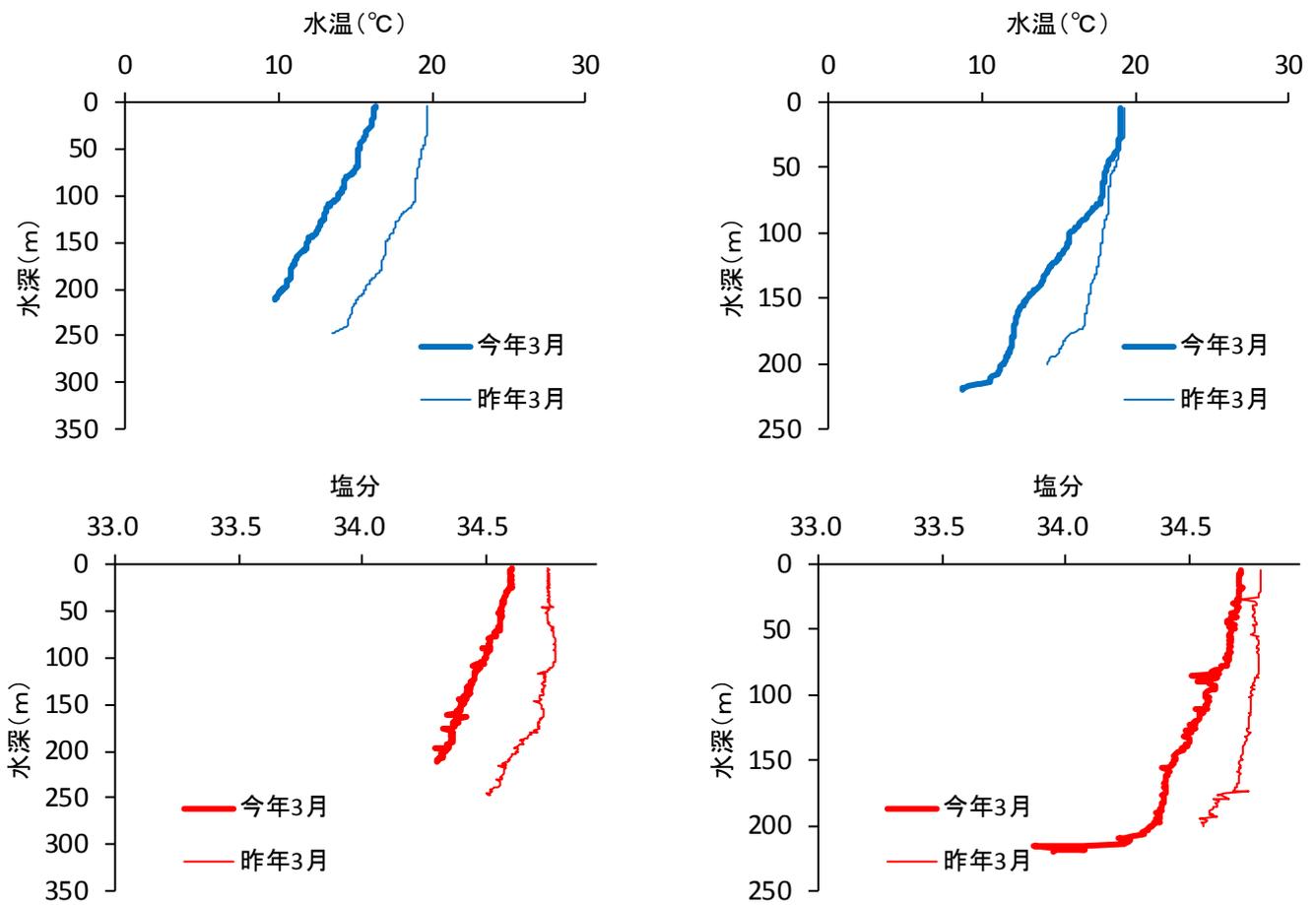


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)